

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年4月9日

【評価実施概要】

事業所番号	270600158		
法人名	社会福祉法人 福祉の里		
事業所名	ふるさと十和田		
所在地 (電話番号)	〒034-0061 青森県十和田市切田字横道100-22 (電話) 0176-25-6322		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 21年 2月 24日	評価確定日	平成 21年 4月 9日

【情報提供票より】(平成21年1月4日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 11年 12月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	8人, 非常勤 0人, 常勤換算 8人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	12,660 円	その他の経費(月額)	2,430 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	210 円	昼食 260 円
	夕食	310 円	おやつ 0 円
	または1日当たり 780 円		

(4) 利用者の概要(1月4日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名		
要介護3	5 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82.77 歳	最低	73 歳	最高	89 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	十和田第一病院、浅原歯科
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>自然に囲まれ閑静な場所に建てられている『ふるさと十和田』は、併設施設の協力により、入居者が安全で安心して生活できる環境となっている。また、ISOに取り組み、各種のマニュアルの整備・管理がなされ、日々のケアに活かされている。健康面に対する意識は高く、事業所内は、衛生・安全管理が行き届いている。また、法人全体では施設内外の研修計画を綿密にたて、事業所職員が参加することで、自己研鑽されサービスの向上にもつなげている</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での課題となった「市町村との連携」については、事業所から活動や実態を伝えたり、話し合いや相談の時間もとり関わりを築いている。「虐待の防止の徹底」についても、勉強会も実施するなどの取り組みが行なわれている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>サービス評価の意義や目的を全職員が理解し、評価を活かしての取り組みも行なっている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>定期的開催される会議では、入居状況や行事、自己評価結果の報告等を行い、サービスの向上につなげるための話し合いが行なわれている。また、市担当職員の提案により勉強会も実施し、全体のレベルアップに繋げている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>日頃より話しやすい雰囲気作りに心がけ、面会時や行事では、意見や要望等を聞くように努力し、出された意見についても、職員間で話し合い、運営に反映させている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会や地域民生委員との関わりがもてるよう努力し、地域への行事参加や交流を通じて関係を深める働きかけを行なってほしい。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	住み慣れた地域での生活の継続を支援するため、事業所独自の理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝の申し送りでは、理念を全職員で唱和している。また、理念の実践に向けて必要と思われるものについては、その都度勉強会等で確認している。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域の祭りなどには、積極的に参加しふれあう機会を設けている。また、地域の小中学校の体験学習やボランティアの受け入れも行ない交流が図られている。しかし、自治会や老人会といった地元の人々の交流までには、立地的に問題もあり行なわれいない。		地域の自治会や民生委員などへの働きかけを行い、地域の一員として行事に参加するなどして、地域貢献、認知症普及活動の取り組みに期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価を全員で行い、サービス評価の意義や目的を理解し、改善に取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に運営推進会議を開催し、行事や利用状況、評価結果等を報告している。会議では、意見や要望を出していただき、サービスの向上に努めている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議以外での行き来はないが、会議の間には、運営の方針上の相談や課題解決に向けての考えを共有できるような体制がとられている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>内部研修等の実施で、全職員が制度について理解している。入居以前から権利擁護事業を利用されている人もいるが、入居者個々の必要性にあわせ活用できるような体制になっている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会等でお互いに理解や遵守に向け、注意し取り組んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時の説明は丁寧にされてある。疑問や不安があるときは、その都度詳しく説明し納得して頂いている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>面会時に利用者の状況を細かく報告し、面会の少ない家族には手紙や電話で報告している。また、ホーム便りも発行されてある。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時や家族参加の行事等で、気軽に話せるような雰囲気作りに心がけ、意見や要望等を聞くようになっている。また、玄関には投書箱も設置されてある。寄せられた意見については職員間で話し合い、運営に反映させている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>馴染みの関係を大切に、人事異動はできるだけ行なわないように法人は配慮している。やむを得ない場合については、最小限にし、ダメージを与えないようにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人は職員の段階に応じた研修に、計画的に参加させている。また、事業所独自でも、研修を計画し、勉強会が開催されている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホーム間の勉強会や親睦会などで交流を深めていて、情報交換も行なわれている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族とのコミュニケーションを図りながら支援している。大きな家具等の持ち込みは見られないが、愛用していた小物などが持ち込まれ、馴染みのもので安心した生活ができるように支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	その人らしさを尊重し、ゆったりとした時間を作り、本人に寄り添い、言葉に耳を傾けるように取り組んでいる。食事作りや後片付け、畑作業や作品作りなど、一緒に行なうことでお互いに支え合う関係が築けている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で声をかけ、把握に努めている。意思の疎通が困難な方には、家族や関係者から情報を得るようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日頃の関わりの中から利用者や家族等の意向を確認し、介護計画に反映させている。また、職員全員で話し合い、課題の見直し等も行なっている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的に見直しし、状態が変化した際には、再度検討見直しが行なわれている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人や事業所専用の車両を利用する事で、ドライブや、行事参加、通院等が時間に追われることなくでき、柔軟な対応をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医のほかに、入居前からのかかりつけ医での医療の継続を支援している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合については、その都度随時対応することとしているが、事業所としての取り組みが具体化されていない。		重度化や終末期に向けて、各関係職員と共有できる体制の構築が必要と思われる。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員が個人情報の保護法の理解に努め、秘密保持の徹底が図られている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者のペースに合わせ、利用者の訴えを尊重し、一人ひとりの希望にそって支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の準備や配膳、片づけなど職員と一緒にやっている。食事が楽しいものになるように、入居者の好みを取り入れるなど配慮が見られる。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴日を定めることなく、入居者の状況や希望に合わせて柔軟に対応している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>入居者ができること、していたことを把握して、日常生活の中で取り入れ支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>買い物や散歩等は、天気や本人の希望にあわせて行なわれている。畑や中庭にはいつでも外出できるようになっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>禁止の対象となる具体的な行為を全職員で正しく理解し、拘束のない自由な生活を提供している。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>安全を重視し玄関に鍵がかけられている。『鍵をかけないケア』については今の所、検討されていない。</p>		<p>安全を追求しながらも、入居者の状態を考慮しつつ、自由な暮らしを支える取り組みに期待したい。</p>
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>マニュアルを作成し、年2回入居者と共に避難訓練を実施している。法人での災害時の協力体制が整備されてある。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分摂取量を毎日チェック表に記録し、職員が情報を共有し、状態に応じた支援が出来ている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>インフルエンザの予防接種は利用者・職員ともに実施されており、大型の加湿器も設置し対応している。その他の感染症についてもマニュアルを作成し、予防や対応が万全である。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>観葉植物や手作りの花、春を待ちわびるように桜の枝もかざられ、季節感を楽しんでもらうように心がけている。心地よく生活できるようにと、光、匂い等にも気を配っている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>今まで使用していた家具や思い出の品を持ちこんでいただくようにしている。思い出の写真や、馴染みの物を飾り、心地よく過ごせるように配慮している。</p>		

 は、重点項目。